

芝浦工業大学(学部入学定員:1,610人)

[取組学部・研究科等: 工学部(1,040人)]

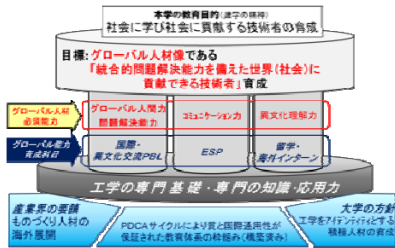
【構想の目的・育成するグローバル人材像】

「統合的問題解決能力を備えた世界(社会)に貢献できる技術者」を本学が育成するグローバル人材像とし、グローバル人材に必須の4つの能力(コミュニケーション力、グローバル人間力、異文化理解力、問題解決能力)の総合的な育成を目指す。

【構想の概要】

本学がこれまで構築してきたPDCAサイクルによる質とJABEE準拠による国際通用性が保証された教育体系の枠組みを基盤とし、①教員・職員・体制の総合的なグローバル教育力の向上、②語学力育成教育、③異文化理解を促進する留学支援、を中核とする国際化プログラムを実行する。

■ グローバル人材として求められる能力の育成



〈グローバル人材育成の構想〉

○ コミュニケーション力

世界で活躍する技術者に必要な語学力を育成するため、ESP(English for Specific Purposes)教育、自己学習用Eラーニング、及び、専門科目の一部英語化を中心とした体系的な語学教育プログラムを整備。

○ グローバル人間力・問題解決能力

アクティブラーニング教室を使用した海外協定校の学生と同一テーマによる国際・異文化交流PBL(Project-based Learning)科目を新設。グローバル人間力の達成度評価手法としてルーブリックを実用化し、PROG等外部テストによる評価も併せて実施。

○ 異文化理解力

留学プログラム及び海外インターンシップの単位化や参加効果の周知、並びに、グローバル能力を自己認識することができる電子ラーニングポートフォリオの整備等により留学等への動機付けとする。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

帰国生徒特別入試にて、受験生の海外での経験を活かすために、一般の受験生とは別枠で小論文、面接、数学、理科(物理・化学)、英語の試験を実施。入学直後のプレースメントテストによる英語習熟度別クラスの設置。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

語学力測定のために卒業までに5回(1年次2回、2-4年次各1回)TOEICを受験させるとともに、ESP教育のための工学英語科目と専門科目の英語化の拡張・強化を図るとともに、自己学習用Eラーニング教材を導入し、語学学習時間を大幅増加。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

教員を海外の大学に3-12カ月間留学させ、教育・研究を体験させることにより、教員のグローバル教育力・研究力向上を図る。また、教員採用面接において海外経験と英語力をこれまで以上に重視し、グローバル教育力を有する教員を増強する。

○ グローバル教育力向上のための取組

グローバル教育に関して先進的な国内外の大学の教員や世界で活躍する日系企業のリーダー等を招聘し、本学にてセミナーやワークショップを実施。またPBLの効果的導入法の調査・研究を実施し、その結果をFD活動によって教員に普及することで、効果的な国際・異文化PBLの運用を図る。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

留学・海外インターンシップ等のプログラムが果たす役割・効果や、育成される能力等が示された資料、及び、若手OBの海外業務経験やグローバル能力の必要性について記載された資料等を作成し、学生に周知徹底する。留学・インターンシップの単位化。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

短期派遣の中心国となるタイ、インドネシアにはサテライトオフィスを設置し、常駐スタッフを配置する等して、派遣学生の健康管理や学修管理、また緊急時対応を強化する。また、留学中または帰国後の就職支援のため、キャリアカウンセリングを導入。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

グローバル能力中心の学習目標設定(P)、カリキュラムエディターによる体系的履修支援(D)、PROG・ルーブリックなどのグローバル能力評価手法導入(C)のPDCAサイクルで質を保証し、JABEE準拠により国際通用性が保証された教育体系の枠組みを構築する。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

公表が必要な情報、公表優先度、及び、他言語化の必要性を閲覧者のニーズを把握した上で整理し、優先度の高い情報からホームページや印刷資料にて公表する。

○ 事務体制のグローバル化

外国人教員・留学生の相談に英語で対応できる、専門技能を有する職員の増強と、職員の中核海外派遣研修制度を継続。学内規定や手続書類、教務関係書類の英語化を図る。



〈国際・異文化交流PBL(イメージ)〉

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

【コミュニケーション力:語学力・コミュニケーション能力】工学基盤の上に立ち、語学とモノやサービス等を介して、相互理解できる能力。

【グローバル人間力:主体性・積極性・チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感】競争的状况においても、長期的展望に立って、国際協調を実現する能力。

【異文化理解力:異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー】自然環境、経済環境、文化的・宗教的背景を理解し、多様性を認める能力と、日本文化を行動によって発信できる能力。

【課題解決能力:課題発見能力と倫理観に裏打ちされた解決能力】技術的経済的活動への社会的影響を判断できる能力。

本構想において実現する達成目標

全 学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				160人	300人	500人	750人
うち海外留学未経験者数 (A)				105人	240人	430人	600人
海外留学経験者数 (B)		48人	50人	55人	60人	70人	150人
卒業[予定]者数 (C)		1399人	1200人	1200人	1200人	1200人	1200人
比率 ((A+B)/C)				13.3%	25.0%	41.7%	62.5%
工 学 部	卒業時の外国語カスタンダード	CEFR B1		160人 (105)	300人 (240)	500人 (430)	750人 (600)
	海外留学経験者数	48人	50人	55人	60人	70人	150人
	3カ月未満	48人	50人	55人	60人	70人	150人
	3カ月～1年	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		1399人	1200人	1200人	1200人	1200人	1200人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。